

平成29年第3回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに平成29年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

最近の世界情勢を見ますと、北朝鮮による弾道ミサイル発射、核実験と続き、アメリカの動向とともに目が離せない状況になっております。日本国民は毎年夏に不戦の誓いを新たにしておりますが、再び戦争の惨禍を招かないように願うものであります。

次に、国の動向ですが、8月末までに平成30年度予算の概算要求が各省庁から財務省に出されており、4年連続で100兆円を超えるものとなったようであります。一方、国の借金は1000兆円を超えており、財政健全化対策などまったなしの状況であります。

しかしながら、離島振興関連事業等、住民生活に直結する予算に関しては、国の政策を注視しながらも要望すべきは要望し獲得していきたいと考えております。

私も今年の3月19日に西之表市長に就任してから、約半年が経過いたしました。多くの市民の皆様の様々な意見をお聞きしながら、日々市政の推進に励んでいるところでございます。

今後も、市民目線をもって、市民に寄り添い、事業に関してはスピード感をもってとりくんでまいりたいと思います。

議員諸兄のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、主な市の状況や出来事等について報告いたします。

まず、長期振興計画の策定についてであります。

庁内での検討や意見交換はもちろんですが、市民との協働を基本として、市民委員会、振興計画審議会での検討に加えて、各校区との意見交換会、アンケート調査、高校生との意見交換などを経て、市の将来像や計画体系などについて整理に取り組んでおります。今後は、具体的な基本計画や実施計画の策定を進めて参ります。

次に、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金の活用状況ですが、運賃低廉化により、利用者が昨年より大幅に伸びており、県協議会の予算の確定により、1,280万円の補正を計上いたしました。また、農水産物等の輸送費支援についても、総量の増加を見込んでおり、今回補正で約1,490万円の増加を計上しています。更に、新たに雇用機会の拡充として、交付金ベースで9,000万円を超える事業展開を予定しており、要望のあった8事業所及び個人等の事業につ

いて、国に申請を行っているところです。

より有利な補助率での事業実施がなされることにより、新たな雇用創出など広く事業効果の波及が期待されるところであります。

次に、農業の状況についてであります。

まず、生育状況につきましては、基幹作目であるさとうきびが、台風5号による潮風害及びその後の干ばつの影響により、昨年度を下回る平均反収が予想される非常に厳しい見込となっております。

また、作付面積も600haと、前年同期より53haも減少し、地域経済への悪影響が懸念されます。

このようなことから、各種助成に取り組み、中でも、セーフティネット基金の活用による支援を図り生産性の回復を図りたいと考えております。

園芸関連につきましては、6月9日に、『西之表市園芸振興会』が60年以上の長い歴史に幕を下ろし、更なる飛躍・発展を目指すべく『西之表市野菜部会協議会』が設立されました。各品目の部会制に移行し、活発な活動が期待されます。

畜産につきましては、8月セリ市の平均価格が、雌で六十一万五千百三十五円、去勢で七十四万五千三百二十六円と、7月セリ市よ

り若干価格は下がったものの、依然として好調な取引となっております。

次に、観光面では、H-II A ロケット35号機が天候不良やロケット推進系統の確認のため2度に渡って打ち上げ延期となりましたが、8月19日に無事打ち上げに成功しました。

今年度は、あと4回の打ち上げが予定されており、観光客の増加に向け大いに期待したいと思います。

さて、8月19日、20日の両日にわたり種子島鉄砲まつりが開催されました。

ロケット打ち上げもあり、太鼓山行列・南蛮行列には、例年より多くの方が観覧されたようです。また、昨年に引き続き、東京大学や鹿児島国際大学の学生、鹿児島実業吹奏楽部の皆さんなど、島外からも多くの若者が参加し、まつりを盛り上げていただきました。

花火大会では、例年の打ち上げ場所を西之表港沖合の防波堤から中央埠頭に変更し実施いたしましたが、間近で見られる花火に市民からは好評を得たところでした。

スポーツ・文化面におきましては、第58回県体熊本地区大会が、

7月2日、9日に1市3町で開催され本市は、26種目中12種目で優勝しております。今月の16日、17日に開催される第71回県民体育大会では、熊毛の代表として全力を尽くしてくれることを期待いたします。

国登録有形文化財 旧上妻家住宅は、これまでに2回の一般公開を行い市内外の方々に種子島の歴史・文化を知る貴重な機会になったのではないかと思います。今後、保存活用計画を策定し、文化財及び観光資源として整備・活用を図って参ります。

市内の幼、小、中学生、高校生の活躍にもめざましいものがあります。スポーツ面においては、種子島中学校が地区総合体育大会総合2位、サッカー部は県大会でベスト8に入りました。種子島高等学校は県高校総合体育大会において、男子砲丸投げ3位、女子100メートルハードル5位と活躍し、その他様々な種目で健闘してくれました。

また、文化面においては、県の図画作品展で古田小学校の児童が県知事賞を受賞し、榕城小学校が最優秀学校賞、めいろうこども園と種子島中学校が優秀学校・優秀学園賞を受賞しております。なお、種子島高校は、放送部がNHK杯全国高校放送コンテスト全国大会

への出場を果たしており、今後も様々な分野での子どもたちの活躍が期待されるところです。

馬毛島問題の現在の状況について、ご報告したいと思います。

まず、馬毛島活用についてですが、これまで検討チームによる検討会を3回開催し、いくつかの活用案を選定して、年内の具体案作成に向け急ピッチで作業を進めています。

また7月7日、地権者の協力を得て、西之表市の市有財産である旧馬毛島小・中学校跡地の避難施設用地・建物の現況調査を実施しました。

馬毛島の現地調査は平成21年が最後であり、8年ぶりの実施となりました。私と教育長、市職員の総勢18名が渡航し、施設等の状況確認と施設補修、施設周辺の雑木等の伐採、草刈りをして参りました。

次に米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会ですが、去る8月9日に臨時総会を開催し、情報収集に係る取組みと今後の協議会活動について協議を致しました。引き続き、種子島・屋久島の1市3町の枠組みを軸に、今後も連携をとって参りたいと考えております。

それでは、本日提案いたしました議案について御説明いたします。

本定例会に提案いたしました議案は、西之表市公平委員会委員の選任の人事案件 1 件、西之表市有林野管理条例等を廃止する条例の条例議案 1 件、平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 号）など予算関係議案 7 件、平成 28 年度一般会計歳入歳出決算認定についてなど認定 7 件、その他報告案件 1 件の合計 17 件であります。

主な議案についてご説明いたします。

議案 58 号は、西之表市公平委員の選定についてであります。地方公務員法第 9 条の 2 第 2 項の規定により議会の同意を得ようとするものであります。

議案 59 号は西之表市有林野管理条例等を廃止する条例の制定についてであります。条例の適時性を確保するための全庁的な見直し作業を行い、放置することで支障をきたす条例を廃止しようとするため条例を制定しようとするものであります。

議案第 60 号から 66 号は、一般会計及び特別会計の補正予算であります。

議案第 60 号、平成 29 年度西之表市一般会計補正予算（第 2 号）についてご説明いたします。

歳入は、普通交付税が確定したことに伴い二億二千六百六十四万四千円を追加いたしております。また、特定有人国境離島特措法に基づく社会生活維持推進交付金の事業増大等に伴い県支出金が一億二百十六万三千円、さらに、平成28年度決算に伴う収支の確定により、繰越金に一億七千七百六十五万三千円を追加しております。

歳出は、財産管理費、積立金に二億六千五百五十万九千円を基金積立したほか、雇用機会拡充事業九千八十九万二千円など、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金関連経費を計上いたしております。

次に、認定第1号から認定第7号までは、平成28年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定であります。

平成28年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額百六十一億九千四百九万七千四百六円、歳出決算額百五十八億一千三百九十五万四千二百六十三円で、歳入歳出差引額は三億八千十四万三千百四十三円、翌年度へ繰り越すべき財源五百七十四万八千円を控除した実質収支額は三億七千四百三十九万五千百四十三円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額百六億九千三百二十一万四千

三百九十一円、歳出決算額は百四億七千九百八十一万二千四百十一円で、歳入歳出差引額は二億一千三百四十万一千九百八十円となり、翌年度へ繰り越すべき財源五百七十四万八千円を控除した実質収支額は二億七百六十五万三千九百八十円となり、実質単年度収支は黒字であります。前年度の決算額に対しまして、歳入は15.1%、歳出は14.9%それぞれ減となりました。

特別会計では、歳入決算額五十五億八十八万三千十五円、歳出決算額は五十三億三千四百十四万一千八百五十二円で、歳入歳出差引額は一億六千六百七十四万一千百六十三円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないことから実質収支額も同額となりました。前年度の決算額に対しまして、歳入は1.56%の減、歳出は3.18%の減となりました。

なお、普通会計における経常収支比率は94.7で、対前年度比2.9ポイント増えております。健全化指標は、実質赤字比率及び連結実質赤字比率がゼロ、いわゆる黒字であります。実質公債費比率の3カ年平均は8.8で、対前年度比0.1%の増加、将来負担比率は57.4で、対前年度比7.4ポイント改善をいたしました。

財政の健全化は保たれていますが、経常収支比率の状況など検討

すべき課題も存在します。今後とも、財政の健全さを損なうことのないよう、細心の注意を払ってまいります。

提案いたしました議案につきまして、議員各位の御審議をお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

ありがとうございました。

平成29年9月8日

西之表市長 八板 俊輔